

大漢和辞典編纂ものがたり

～ 漢和辞典ができるまで ～

本文だけで全 12 巻、収録漢字は約 5 万字、熟語は 50 万語以上。
漢学者 ^{もろはしてつじ} 諸橋轍次が生涯をかけて作り上げた『大漢和辞典』は、史上最大の漢和辞典として知られています。その編纂作業が開始されたのは昭和初年ですが、初版が完結するまでにじつに 30 年以上の歳月を要したという、まさに苦難に満ちた大事業でした。

原稿を書く段階の苦労、校正する過程での困難、そして印刷上の技術的な問題点。

さらには、容赦なく襲いかかる戦災……。

そこには著者と出版者だけにはとどまらない数多くの人々の献身的な努力がありました。編纂に協力した北海道ゆかりの方々のお話も交えた大漢和辞典完成までの物語をうかがえます。

また一般的な漢和辞典の編纂作業についてもご紹介いただきます。



日時

2016 年 **12** 月 **3** 日 土曜日

(開場 15:30) **16:00～18:00**



会場

かでの 2・7〔710 会議室〕

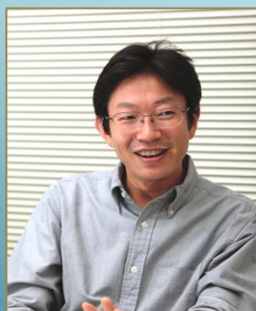
(中)北 2 条西 7 丁目 北大植物園正門前



聴講料

500 円 (当日)

申し込みは不要。直接会場へお越しください。



講師 円満字二郎氏

1967 年、兵庫県西宮市生まれ。大学卒業後、出版社で国語教科書や漢和辞典などの編集者として働く。2008 年、退職してフリーに。近著に『漢字ときあかし辞典』『部首ときあかし辞典』『漢字の使い分けときあかし辞典』(以上研究社)『ひねくれ古典『列子』を読む』(新潮選書)などがある。

【HP】<http://bon-emma.my.coocan.jp/>

主催 北海道漢字同好会

後援 札幌市 札幌市教育委員会

問い合わせ：事務局 TEL/FAX 011-691-5123